



越部小・だより



「新しい学校の生活様式」での学び — 変わるもの・変わらないもの —

新型コロナウイルス感染症に対応した学校教育活動が再開して約1ヶ月です。「3つの密をさける」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」「共用部分の消毒」など基本的な感染対策を継続する「新しい生活様式」を導入し、感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ、子どもたちの健やかな学びの保障に向けての取組を進めています。音楽(歌唱・器楽)や体育(接触する運動)、体験活動や校外学習、学校行事など、制約のある活動もありますが、基礎基本をしっかりと身につけ、一人一人が「わかった」「できた」と言える授業作りに取り組み、学校でできる体験活動(花や野菜の栽培、生き物の飼育、自然観察)での気づきや発見を友達と意見交流し、考えを深める学習を進めていきます。また、「お互いを思いやり尊重し、命や人権を大切にすることを育む教育」は、すべての学習の基礎となるもので、本校においても重要課題です。学校生活のあらゆる機会をとらえて、考えさせるようにしています。

□ 安全に登下校できることに感謝 — 見守りありがとうございます —

毎日、子どもたちが当たり前のように安全に登校し、安心して下校できるありがたさを今、改めて感じています。夏休みも短縮になり、今後は、熱中症予防の心配もあります。

保護者の皆様や地域の皆様には、子どもたちの安全確保のために、ご協力をいただいていますことに感謝申し上げます。



[地域・保護者の方々に見守られての登校]

□ 熱中症予防と新型コロナ対応

学校教育活動においては、通常マスクを着用しますが、熱中症の対応を優先した対応をとります。

[マスクを着用する必要のない場合]

- ① 熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合
- ② 体育の授業
- ③ 登下校(1列で大声を出さずに登校する等の工夫をする)
- ④ 屋外での外遊び
- ⑤ 十分な身体的距離が確保できる場合

学校創立記念日(7月1日)について(創立145周年)

越部小学校は、その前身の仙正小学校・玉水小学校のころから数えると140年以上にわたってこの地の教育・文化の中心として、また地域の方々の心のふるさととして地域の人々と共に歩んできました。

創立記念日については、昭和40年に、村立越部尋常小学校として開校された明治25年7月1日を越部小学校の創立日と定め、それ以来この日を創立記念日として学校を休業日にしてお祝っています。

そして、昭和50年9月28日に開校100周年諸事業が行われています。これは、越部尋常小学校の前身である玉水小学校が明治8年開校された時から起算されています。それによると今年で創立145周年ということになります。

本校創立以来、多くの卒業生が、越部小学校の思い出を胸に社会で活躍されています。越部小学校に学ぶ子どもたちが、本校で、未来を切り拓く力を育ててもらいたいです。

本年度よりたつの市では、学校創立記念日は休業としないこととなりました。

□ 1年生を迎える会 6月8日(月)

入学式から約2ヶ月経ち、やっと1年生を迎える会ができました。6年生が中心となり、寸劇やクイズなどで1年生に越部小学校の生活について楽しく教えてくれました。新型コロナウイルス感染防止対応で運動場での間隔をとった会になりましたが、1年生だけでなく、越部っ子みんなが、学校再開を喜び、温かい気持ちに一つまれ、絆を深めることができました。



[素晴らしい青空でした]



[まねっこゲームで盛り上がりました]